

こ みち  
教育の小径

## 今月の記念日 駅弁記念日(7月16日)

明治18年(1885年)の7月16日に日本鉄道(日本初の私鉄)の宇都宮駅が開業しました。この日に、日本で初めて駅弁が売られました。にぎり飯二つとたくあんを竹の皮に包んだもので、値段は5銭だったそうです。ちなみに4月10日は「駅弁の日」です。



国士舘大学教授  
北 俊夫先生

今月の  
テーマ

## 夏休みを迎える子どもたちに

- 子どもたちが夏休みを有意義に過ごすためには、生活の計画を立てさせるなど事前の指導が欠かせません。
- 自由に使える時間を活用して、自由研究に取り組んだり地域の諸活動に参加したりするよう促します。

## 自己管理能力を育てる

まもなく子どもたちが楽しみにしている夏休みを迎えます。各学級では夏休みの過ごし方について指導されます。「～はしてはいけません」のように禁止事項を並べたプリントを配布している学校もあります。こうした注意すべきことを指導することは必要なことですが、これだけでは夏休みを創造的に過ごすことはできません。

重要なことは、安全にかつ充実した規則正しい生活を送ることができるようにすることです。そのためには、生活の計画を立てさせることが大切です。どのような夏休みにしたいか。どのようなことに取り組みたいかなど、夏休みならではの目的や内容を考えさせます。

教師がいつも傍に居て指導することはできません。そのため、夏休みの子どもたちの生活は、ともすると乱れがちです。自由な時間があると、大人であってもつい緊張感を失います。自らめあてをもって生活するとともに、時には自己規制するなど自己管理能力が求められます。

勉強をはじめ遊び、食事、テレビの視聴、起床や就寝の時間など、あらゆる場面で自らの「生活の仕方」が問われま

す。このことは、夏休みは子どもたちに食生活や時間や健康に対する自己管理能力を育てるとともに、一人一人を大きく成長させる重要な期間であることを意味しています。

## 自由研究に取り組ませよう

夏休みの特色は、長い時間を自分の思いで自由に活用することができることです。普段の生活ではできないことに取り組ませます。苦手な教科の復習をする。時間のかかるものづくりに挑戦する。ポリウムのある読書に取り組む。スポーツに熱中する。家のお手伝いを継続して行うなどの課題が考えられます。

多くの学校では、子どもたちに自由研究を課しています。自由ですから、どのようなことに取り組んでもよいのですが、結果として充実した自由研究ができるようにするためには、事前の指導が欠かせません。自由研究のやり方について十分に指導しないままに、自由研究を課題にしている学校も多いようです。夏休みに入るまでに「総合的な学習の時間」などを活用して、自由研究の仕方についてしっかり指導しておくことが大切です。研究のテーマを確認するだけでは不十分です。教師の指導のもとに、研究の

内容や手順を事前に考えさせておくことが大切です。

夏休み期間中、自由研究のやり方などで子どもが困ったとき、いつでも相談できる体制を学校として整えておくことも考えられます。

こうした夏休みの過ごし方については、7月の保護者会で話題にしたり、学年や学級の通信などで家庭の人にも伝えたりします。

## 地域の行事に参加を促す

子どもたちは地域社会の一員です。地域とさまざまなかわりをもって生きています。夏休みには、地域で朝のラジオ体操が行われます。祭りや行事などの活動も行われます。こうした行事や活動に積極的に参加するよう促すことも学校の役割です。

もし可能であれば、これらの行事などに教師も参加するとよいでしょう。子どもたちが地域で生き生き活動している学校では見られない姿を見ることができかもしれません。

夏休みは、普段の学校生活ではできないことを学んだり経験したりすることができる貴重な期間です。

家族は生活していくうえで最小の集団であり、成長していく際に最も早く帰属する集団です。

家庭科の学習指導要領には、家庭生活と家族の大切に関することが新たに盛り込まれました。ここでは、家庭は衣食住の基本となる生活の場であることや、自分の成長や生活は家族に支えられていることに気づかせ、自分も家族を構成している一員であることを自覚させます。また、家族の一人一人が健康な生活を送れるように、互いに支え合うことの大切さを理解させます。家族とは何か。家族の絆をどのように深めるかなど考えさせたいものです。

生活科の学習で、家庭生活を支えている家族のことや自分にできることを学んでいます。道徳の時間には各学年で、家族の協力や幸せについて扱われます。これらの学習との関連を図りながら、家族に対する正しい認識と実践的な態度を育てるようにします。

実際の指導においては、子ども一人一人の家族構成や個人のプライバシーに十分配慮することが大切です。



5年の社会科の授業を参観した時のことです。先生が「有機栽培」という言葉を発表したとき、子どもたちは理解できなかったようです。子どもたちはすぐさま机の上にあった国語辞典を開いて、「有機栽培」の意味を調べたのです。そのあと、一人の子どもが発表しました。社会科の学習で国語辞典を活用することは社会科にとって効果があるだけでなく、国語の力をつけることにもつながります。

国語辞典を活用する場面は国語科の時間だけではなくありません。あらゆる教科で難解な語句に遭遇したとき、いつでも活用する態度を育てることがその教科の学習の質を高めるうえで重要なことです。その意味で、国語辞典は困ったときの「常備薬」だと言えます。生涯にわたって世話になる

必需品のひとつです。

4年から使用される「地図帳」は社会科の時間に使うものという考えがあります。しかし、ほかの教科等で地名の場所がわからなかったときには地図帳で確かめる必要があります。わからないままにしておくことは禁物です。

授業では、主としてその教科の教科書が活用されます。しかし、ほかの教科の教科書を相互に活用しながら授業を進める力は、子どもたちに学力をつける授業力のひとつだと言えます。



### 教育キーワード 補助教材と副読本

教科書は正式には「教科用図書」と言われ、教師には学校教育法によって使用義務が課せられています。それに対して、教科書以外の図書やその他の教材を「補助教材」と言われ、多くの教科等で使用されています。

副読本もそのひとつです。現在、ほとんどの学校では体育科や道徳、中学年の社会科などで副読本を使用しています。文部科学省が作成した道徳の「心の

ノート」や「英語ノート」も補助教材です。このほかにも、学校には環境教育や安全教育、食育、農業や工業の学習のための副読本がいろいろの機関や団体から提供されています。

これらの副読本は文部科学省の検定を経ていません。学校で使用する補助教材の中には、教育委員会に届けたり承認を得たりすることが必要なものもあります。

### 学級通信に使える今月のイラスト



### Information (PR)

#### 小学校道徳 読み物資料集

文科省HPに掲載の  
新しい道徳読み物資料が  
書籍になりました!  
(全29資料+活用例)

- ◎編著 文部科学省
- ◎定価 700円(税込)
- ◎発行 株式会社文溪堂

B5判 162ページ



#### お知らせ

「教育の小径」インターネット配信をスタート!  
本誌と同じレイアウトで、インターネット上でお読みいただけます。お知り合いの先生にもぜひお勧めください!  
<http://www.bunkei.co.jp/2011/monthly.html>  
または「ぶんけい 教育の小径」で検索。